

老朽化したマンホールの更生に最適！

自立マンホール『ジックボードVGG工法』など
更生工法

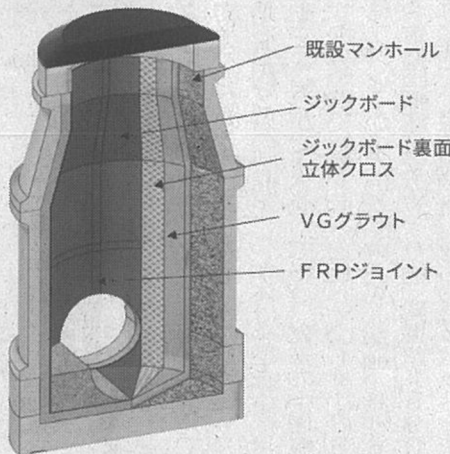
JERコンクリート補改修協会

JERコンクリート補改修協会（兵庫県神戸市西区南別府一―四一六・日本ジックウ株式会社）
〇七八―九七七―〇七〇
一は、八月四日～七日まで東京ビッグサイトで開催された「下水道展」に、自立マンホール更生工法「ジックボードVGG工法」などを紹介し、好評を博した。

下水道施設の経年劣化が進み、それが原因で事故が発生するなど大きな社会問題となる昨今、同協会では、老朽化したマンホールを更生する各種更生工法を提案し、下水道施設の老朽化問題に取り組んでいる。

中でも最新の更生工法の「ジックボードVGG工法」は、非開削施工を採用することにより騒音や道路交通への影響を最小限に留める上、更生材のみで外力に対抗することができると様々なメリットをもたらす自立マンホール更生工法で、年々施工により、新設マンホール

ジックボードVGG工法図



工実績を伸ばしている。

同工法は、高耐食性ビニルエステル樹脂製FRP板の裏面に立体クロスを一併成型した複層板と速硬化型無機質系グラウト材を更生材料に使用して老朽化したマンホールを更生する。

主な特長は――

①表面部材のジックボードは工場成形品であり、均質高密度であるため優れた遮断性を有し、腐食物質を浸透させる恐れがない。

②耐震計算により任意のグラウト厚さが設定できる（最小グラウト厚さ48mm）

③速硬化型VGGグラウト

を用いることで従来の工法（ジックボードJ工法）に比較して、グラウト充てんに必要な日数を短縮することが可能である。

④斜壁・直壁の更生だけでなく、マンホール底版の更生も可能である。――など多岐にわたる。

主な仕様は――
▽施工性Ⅱ円形1号～3号に対して施工が可能

▽強度特性Ⅱ更生材（ジックボード）と充てん材（VGGグラウト）は一体性を有する。VGGグラウトは圧縮強度45N/cm²以上。ジックボードは引張強度100N/cm²以上

▽耐荷性能Ⅱ更生マンホールは、管口断面の縮小がなく、下水の流下性能に影響を与えない

▽耐荷性能Ⅱ更生マンホールは、管口断面の縮小がなく、下水の流下性能に影響を与えない

▽耐荷性能Ⅱ更生マンホールは、管口断面の縮小がなく、下水の流下性能に影響を与えない

▽耐荷性能Ⅱ更生マンホールは、管口断面の縮小がなく、下水の流下性能に影響を与えない

